

# 新設！-WEB 版動画講習会のご案内-

## ◆WEB版動画講習会のメリット

- ・インターネット動画が視聴できる環境であれば、いつでも、どこでも受講できます。
- ・受講料はクレジット決済できるのでテキスト(別売)があれば、申し込みその日から受講できます。
- ・受講申込みされてから30日以内なら何回でも繰返し再生できるので学習効果がアップします。

## ひとりで学べる RC造建築物の構造設計演習(保有水平耐力)-前編・後編- 【WEB版動画講習会 ー構造設計シリーズ RC造編 基礎Ⅱコースー】

(一財)日本建築センターが毎年開催し好評を博している「技術セミナー 構造設計シリーズ RC造編」(2日間)のWEB版動画講習会です。テキスト執筆者である、**栂山健二先生、楠浩一先生**を講師に迎え、実際の講習会と同様に、講義と計算演習(関数電卓の手計算)の取り組み方法について解説する内容で、自学自習で学べるプログラムとなっています。前編・後編の2部構成。

\*各編ごと、学習順序に従って講義を視聴したあと、テキスト付録の演習シートを使いながら、「ひとりでやってみよう」(演習問題)に取り組む構成になっています。

## ◆WEB版動画講習会の視聴イメージ



## ◆構造計算の実務に沿ったプログラム



**前編 (198分)** 受講料 10,000円(税込) CPD 3単位  
:2次設計とは、部材耐力等特性値の計算、崩壊メカニズムと保有水平耐力



**後編 (179分)** 受講料 10,000円(税込) CPD3単位  
:必要保有水平耐力の算出、保有水平耐力の算出と保証設計

## ◆使用テキスト

ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳

【保有水平耐力計算編】  
(第3版第2刷)

著者 前田匡樹、岸本一蔵、  
栂山健二、楠浩一、  
真田靖士、坂下雅信

発行 日本建築センター  
ISBN 978-4-88910-168-3  
定価 4,180円(税込)

★全国の書店でお求めいただけます。



## ◆WEB版動画講習会のお申込み

日本建築センターの講習会ページからお申込みください。

日本建築センター 講習会

検索

右のQRコードから直接該当講習会のサイトにアクセスできます。



# WEB版動画講習会

## ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】

### 前編 崩壊メカニズム等

#### ■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると328分（約5時間半）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。  
（質問受付フォーム） <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

前編 講義時間：約198分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	講義・演習の進め方 <テキスト：序章> I. はじめに II. 構造計算フローと本書の構成 III. 本書の使い方 IV. 注意事項 2次設計とは <テキスト：第1章> 1.1 2次設計の背景と目的 1.2 2次設計における3つのルート モデルプランの概要と設計方針 <テキスト：第2章> 2.1 モデルプランの概要 2.2 モデルプランの設計方針	35分	
動画2	部材耐力等特性値の計算 <テキスト：3.1～3.4.1> 3.1 トリリアモデル 3.2 ひび割れ強度 3.3 初期剛性と降伏時剛性低下率 3.4 曲げ終局強度 3.4.1 梁の曲げ終局強度と終局時節点モーメントの算出 演習：ひとりでやってみよう / 1	48分	30分
動画3	部材耐力等特性値の計算 <テキスト：3.4.2> 3.4.2 柱の曲げ終局強度と終局時接点モーメントの算出 演習：ひとりでやってみよう / 2	28分	30分
動画4	崩壊メカニズムと保有水平耐力 <テキスト：4.1～4.2.3> 4.1 保有水平耐力とは 4.2 節点振り分け法 演習：ひとりでやってみよう / 3～4	39分	30分
動画5	崩壊メカニズムと保有水平耐力 <テキスト：4.3> 4.3 仮想仕事法 演習：ひとりでやってみよう / 5～7 4.4 保有水平耐力の算出結果 4.5 耐震壁を有する架構を有する保有水平耐力 (参考)	48分	40分
		198分	130分

# WEB版動画講習会

## ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】

### 後編 保有水平耐力等

■本動画の受講にあたっての留意事項

- ・下記の講義時間には演習時間は含まれていません。標準的に設定した演習時間を含めると324分（約5時間半）の内容となります。演習を行うときは動画の視聴を一旦停止し、演習に取り組んでください。
- ・動画の途中で一旦視聴を止めた場合、次回再生は視聴を止めた位置からとなります。
- ・初回再生時には早送りや巻き戻しはできません。動画をひととおり初めから終わりまで再生した後は、早送り・巻き戻しが可能になります。
- ・建築CPD単位として受講する場合は、CPDシステムにログインが必要です。CPD単位は、動画1～5をすべて最後まで視聴した後、自動的に付与されます。
- ・本講習会の内容について質問がございましたら、以下のフォームからお願いします。受講者のみの受付となります。  
(質問受付フォーム) <https://www.bcj.or.jp/form/webqa/>

後編 講義時間：約179分			(参考)
No	講習内容	講義時間	演習設定時間 (標準的な時間です。講義 時間に含まれていません。)
動画1	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.1～5.2.2> 5.1 必要保有水平耐力 5.2 構造特性係数 演習：ひとりでやってみよう／8～9	39分	30分
	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.2.3> 5.2.3 構造特性係数の決定 演習：ひとりでやってみよう／10		10分
動画2	必要保有水平耐力の算出<テキスト：5.3～5.4> 5.3 形状係数 5.4 必要保有水平耐力の計算 保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.1> 6.1 保有水平耐力 $Q_u$ と必要保有水平耐力 $Q_{un}$ の比較 演習：ひとりでやってみよう／11～12	42分	10分
動画3	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.1> 6.2.1 曲げ耐力余裕度 演習：ひとりでやってみよう／13	15分	20分
動画4	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.2(1)(2)> 6.2.2 せん断終局強度 (1) 梁のせん断終局強度 (2) 柱のせん断終局強度 演習：ひとりでやってみよう／14～15	51分	20分
	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.2(3)(4)> (3) 耐震壁のせん断終局強度(参考) (4) 柱・梁接合部のせん断終局強度 演習：ひとりでやってみよう／16		20分
動画5	保有水平耐力の算出と保証設計<テキスト：6.2.3(1)(2)> 6.2.3 せん断破壊の有無の確認 (1)梁のせん断破壊の有無の確認 (2)柱のせん断破壊の有無の確認 演習：ひとりでやってみよう／17～18	32分	15分
	(3)柱・梁接合部のせん断破壊の有無の確認 演習：ひとりでやってみよう／19		20分
		179分	145分